

# ひとみ

発行  
相生市教育委員会  
(人権教育推進室)  
電話 23-7145  
令和7年8月号  
(第66号)

8月は「人権文化をすすめる県民運動」推進強調月間です。

## 昭和 100 年 終戦から 80 年

今年（2025年）は昭和100年、そして戦後80年を迎える節目の年です。

昭和は、日本で最も長く続いた時代（元号）ですが、その長い時代のなかで忘れてはならないのが、やはり戦争の歴史です。

戦争は、人々から生命、からだや心の健康、大切な家族、穏やかな生活等、さまざまなものを奪う最大の人権侵害です。

人権が尊重されることにより平和が守られ、平和であることにより人権が守られます。つまり、平和と人権は密接な関係にあります。

終戦から80年が経過した現在、戦後生まれが人口の約9割を占めているそうです。

戦争を体験された方が年々少なくなり、戦争の記憶が薄れてゆくとともに、昭和という時代そのものが遠ざかっていっています。そんな今日ですが、歴史に触れる機会を増やしたり、平和の大切さを考えたりしていきたいものです。

相生市では、毎年8月に平和への取組を行っています。

## ■非核平和展■

昭和20年8月、広島と長崎は世界最初の原子爆弾により、一瞬にして焦土と化し、多くの生命が奪い去られました。

相生市では、この苛酷な歴史を踏まえ、再びこの地球上に核兵器による過ちを繰り返させず、真の恒久平和を築いていく決意を込め、昭和61年9月核兵器廃絶平和都市宣言を行い、平成3年度から原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりに「平和の尊さ」について考えていただくために「非核平和展」を開催しています。



昨年度の非核平和展の様子



折り鶴を折るコーナー

しかし、世界では戦火が絶えることはなく、多くの尊い生命が失われています。また、今後の世界の情勢を考えると、核兵器の使用に対する漠然とした不安感を拭い去ることはできません。

そこで、毎年、「非核平和展」が開催され、「非核平和を訴える児童生徒の絵画・ポスター」を展示して、平和の大切さや戦争の恐ろしさを伝えています。

期間 令和7年8月1日（金）～15日（金）

場所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール1階

8月6日（水）開催の「人権の集い」と合わせて、ご来場お待ちしております。

## ■長崎の鐘■

市役所正面玄関前には、ペーロン交流都市である長崎市より贈られた「長崎の鐘」があります。毎年開催されている平和祈念式典において、原爆投下時間に鐘を鳴らすことで、長崎市との思いをひとつにし、原爆犠牲者の方のご冥福と世界恒久平和の実現を願っています。



## ■核兵器廃絶平和都市宣言碑■



相生市では、昭和61年に全世界から核兵器が廃絶されることを希求し、「核兵器廃絶平和都市宣言」を行っています。

昭和62年3月には、市役所前庭に宣言碑が建立されました。

令和7年相生市平和祈念式典 場所はいずれも相生市役所玄関前  
8月6日(水) 8:15~(式典開催時刻 8:14)  
8月9日(土) 11:02~(式典開催時刻 11:01)  
8月15日(金) 12:00~

## ■相生市立歴史民俗資料館企画展■

### 「戦後80年 戦時下の暮らしと平和への誓い」

今年は、多くの命を奪い甚大な被害をもたらした先の大戦の終結から80年、国民の自由を制限し戦争への道を歩む契機になったとされる治安維持法の制定から100年を迎えます。この節目を機に、戦争の悲惨さを改めて認識し、反省の上に立って平和な社会を実現していくことは、きわめて意義のあることです。

この度の企画展では、戦時下の暮らしにスポットを当て、寄贈資料を通して人々の生活と戦争との関わりについて考えます。また、相生市所在の平和祈念物や平和を希求する相生市の取組を紹介することによって、不戦と平和への誓いを新たにしたいと思えます。

期 間 令和7年7月9日(水)~9月1日(月)

場 所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール2階展示コーナー

開館時間 9:00~22:00(夜間利用がない場合は18時閉館)

休 館 日 火曜日、7月16日(水)、23日(水)、  
8月13日(水)、20日(水)

# ● 平和な世界は一人一人の行動から ●

旭在住 成富 哲郎さんの話

## 平和の花 キョウチクトウ（夾竹桃）

右の写真はポート公園に咲いていたキョウチクトウの花（7月撮影）です。広島に原爆が投下され、「70年間は草木も生えない。」と言われていたにもかかわらず、焼け野原にいち早くキョウチクトウが花を咲かせました。多くの人たちは大変喜び、勇気づけられたということです。このことから「キョウチクトウ」は、復興の象徴として広島市の市花に指定され、広島市の平和公園でも赤と白の花が咲き誇っています。



ポート公園のキョウチクトウ

この生命力の強い平和と希望・復興の花が、平和都市相生のここポート公園でも一面に咲いています。（相生市は昭和61年に核兵器廃絶平和都市を宣言しています。）

## 平和な世界の実現をめざす高校生平和大使



かがしコンテストの作品

左の写真は昨年のもみじまつりのかがしコンテストに出品されたものです。ノーベル平和賞の広島での受賞会見で、日本原水爆被害者団体協議会代表委員の箕牧 智之（みまきとしゆき）さんの隣で受賞に驚いているのが高校生平和大使です。彼らは、核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざし、全国で活躍しています。毎年数十人全員でスイスの国連欧州本部などを訪れ、平和を訴えてきました。その活動が評価され、7年連続ノーベル平和賞候補にもなっています。「ピリョク

（微力）だけどもリョク（無力）じゃない」のスローガンのもと、彼らは能登半島の災害復興の署名活動など国内でも活躍しています。

## 主体的に、平和な未来をつくる

未来ある相生の若者たちには、地道に活動する高校生平和大使、あるいは夏の日射しのなか懸命に咲くキョウチクトウの花のようにたくましく、相手を思いやる心を忘れずに平和な未来を自分たちの手でつくっていくことを願っています。相生市の平和式典やポート公園に一人でも多く来ていただき、平和の思いを捧げていただけたらと強く願います。



原爆ドームとおりづるタワー

～被爆・戦後80年 8月～

世界中に、早く平和の象徴である青い空がいっぱいに広がり、遠い100年後の未来も続きますように。

相生ゆかりの事例から、成富さんに平和を見つめ直す機会をご紹介します。



# 「平和について考える」絵本の紹介

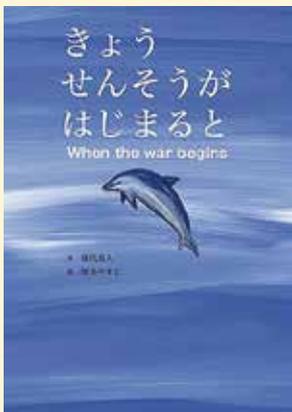
## 「へいわってどんなこと？」(童心社) 浜田 桂子／作

「きつとね、へいわってこんなこと。せんそうをしない。ばくだんなんかおとさない。いえやまちをはかいしない。……。」  
いろいろな視点から平和を考え、平和の意味を問い返します。  
本作は、日本・中国・韓国の絵本作家が手をつなぎ、子どもたちにおくる平和絵本シリーズです。



## 「きょうせんそうがはじまると」(株式会社ニコモ)

藤代 勇人／作 塚本 やすし／絵



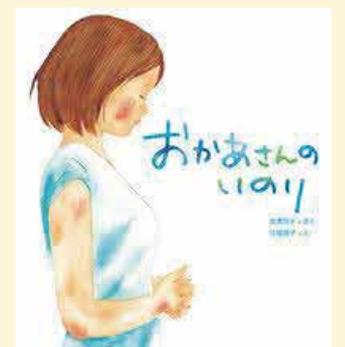
このお話のストーリーはシンプルで、タイトルと同じ「きょうせんそうがはじまると」の一文で始まります。難しい話はなく、子どもにとって、当たり前前にできていた、してきたことが急にできなくなってしまふよというメッセージ性のある作品となっています。

例えば、友だちと遊ぶ、ケンカする、好きなものが食べられないなど…平和な日常が突然変わってしまうというショッキングな事態をわずか一文で表しています。

未来を担う子どもたちが、平和を願ってくれるように、親子で読んでもらえると幸いです。

## 「おかあさんのいのり」(岩崎書店) 武鹿 悦子／さく 江頭 路子／え

平和な世界を生きてほしい。  
小さなかわいい手が、大きくなって銃を握らないでほしい。  
戦争になったら、自分の子どもが兵隊として戦争に行かなくてはいけないかもしれない…。  
戦争に行ったら、自分も死ぬかもしれないし、敵も殺さなければいけない…。  
そんなことは絶対にさせたくない！  
そんな、世界中の子どもたちに対する願いが描かれています。



## 「8月6日のこと」(河出書房新社)

中川 ひろたか／文 長谷川 義史／絵



これは、本当にあったお話です。  
瀬戸内海はその日も穏やかな海でした。  
絵本作家中川ひろたかさんが、広島原爆で亡くなった自分の伯父、被爆者となった自分の母の体験を伝えています。「核と平和」について私たちへ問いかける絵本です。

ここに掲載している絵本は相生市立図書館で借りることができます。

# 8月は「人権文化をすすめる県民運動」推進強調月間です

「人権の集い」、「市民人権学習会」への参加、人権作品の応募、人権に関する本を読むなど今月はいつも以上に人権を意識してみましよう。

## 「人権の集い」への参加

日時 令和7年8月6日（水）18：00～  
場所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール  
講師 佐久間 レイ さん（声優・歌手・劇作家・作詞家）  
演題 生きることは感動すること  
～柔らかな心で明日を生きてみませんか？～  
お話と歌と朗読劇で心のストレッチ



【訂正】「人権ふれ愛シネマ」開催日について  
「ひとみ5月号（第65号）」で令和7年12月6日（水）となっておりましたが、  
正しくは、12月6日（土）です。訂正してお詫びいたします。

## 「市民人権学習支援事業」への参加

### 1 目的

- (1)相生市を「人権尊重の文化に満ちたまち」にするため、市民の人権についての学びの活動を支援する
- (2)人権学習を生涯学習の一つとして位置づけ、より多くの市民に対して学ぶ機会を提供する

### 2 支援対象

相生市に在住・在勤する原則 10名以上のグループによる学習に対して運営費、講師謝金等を補助

### 3 支援対象とする事業内容

人権（女性・子ども・高齢者・障がいのある人・同和問題・外国人・性の多様性等）をテーマとした以下の学習活動

- 講演・講話 ○車座勉強会 ○人権啓発用DVDを活用した学習 等  
詳細は人権教育推進室（電話23-7145）までお問い合わせください

市民人権学習は、開催していただく団体の課題に合わせて、内容をご相談ください。講師、DVD等さまざまな人権学習をご提案いたします。

## 令和7年度「HYOGOヒューマンライツ作品コンテスト」募集

**募集部門** 文芸部門・動画部門・イラスト部門  
**応募資格** 兵庫県内に在住、在勤、在学の方（プロを除く）  
**応募方法** 郵送または持ち込み  
**応募〆切** 令和7年9月5日（金）【当日消印有効】

詳細については兵庫県人権啓発協会HPをご覧ください。  
下記まで電話でお尋ねください。

【応募先】

〒650-0003 神戸市中央区山本通 4-22-15  
県立のじぎく会館内（公財）兵庫県人権啓発協会  
「HYOGOヒューマンライツ作品コンテスト」〇〇部門係  
☎078-242-5355



人権文化の進展と人権課題の解決について考えてみましょう

- 人の優しさや思いやり、支え合うことのすばらしさが表現されているもの
- 一人ひとりを大切にし、心豊かな社会づくりをめざす姿勢が表現されているもの
- 生命や人権の尊さ、大切さが表現されているもの
- 人権課題の解決に向けて、明るい展望をもって表現されているもの

## まちの人権トピックス

### 国際交流バーベキューIN 羅漢の里

令和7年4月19日(土)

相生市国際交流協会と相生ロータリークラブ主催で国際交流バーベキューが開催されました。

いろいろな国の方々とボランティアスタッフの約70人が集まり、新緑の羅漢の里で、交流を深めました。この会は、日本の国とご自身の国との文化のちがいをお互いに知り合い、人と人、国と国とをつなぐことがめざされています。



ビンゴ大会の様子



バーベキューの様子

「『外国人』ではなく、『同じ人』。人と人なのだから、ちがいがあって当たり前。そのちがいをお互いに楽しめることが大切だ。」とスタッフの方は言われていました。

多様性やお互いを知ることのすばらしさを感じるイベントでした。

# 絵本を読んで人権文化をすすめよう

「夏休みの宿題で人権作文を書かないといけないけど、どうしよう…」という声が、小中学生から聞こえてくることがあります。

絵本を読んで感想文を書いたり、絵本から見つけた人権課題について考えてみたりするのはどうでしょうか。

## 「おばあさんのしんぶん」(講談社)松本 春野／文・絵 岩國 哲人／原作

テーマ「思いやり」

戦後の苦しい時代、新聞をとる余裕のある家は多くありませんでした。どうしても新聞が読みたくて配達を始めたてつおに、新聞を読ませてくれる老夫婦がありました。時はたち、おじいさんに次いでおばあさんもなくなったとき、てつおは思いがけない事実を知ります。



## 「ほんとうのことをいってもいいの?」(BL 出版)

パトリシア・C・マキサック／文 ジゼル・ポター／絵 ぶくもと ゆきこ／訳

テーマ「思いやり」

リビーはお母さんにうそをついて友だちと遊びに行こうとしました。はじめてお母さんについたうそ。おなかが苦しくて、涙があふれて…。その日からリビーは、ほんとうのことだけを言おうと誓います。ところが、正直になろうとすればするほど、友だちを傷つけてしまうことになり、リビーは、混乱します。単なる正直ではなく、まず相手の気持ちを思いやること。大切なメッセージが伝わる一冊です。



## 「くまのトーマスはおんなのこ」(ポット出版)

ジェシカ・ウォルトン／さく ドゥーガル・マクファーン／え かわむら あさこ／やく

テーマ「性の多様性・友情」

女の子になりたいとずっと悩んでいたティバアのトーマス。

それを打ち明けたら、大好きなエロールはもう友だちじゃなくなってしまうのだろうか…。

本当の自分を打ち明ける勇気をもったティバアとそしてそれを知らされた親友のエロールの返事は…。

ジェンダーと友情についてのやさしいお話です。



## 「さっちゃんのまほうのて」(偕成社)

たばた せいいち 先天性四肢障害児父母の会 のべ あきこ しざわ さよこ

テーマ「心のバリアフリー」

生まれつき右手の指が無いという女の子・さっちゃんが、ある日、幼稚園のままごと遊びでお母さんになりたいけれどなれなかったというきっかけから、自分について知り、それを受け入れていくというお話です。さっちゃんの思いや周りの大人の言葉に思わず感動してしまいます。



ここに掲載している絵本は相生市立図書館で借りることができます。  
このほかにも人権をテーマにした本を読んで人権について考えたり、誰かと話したりできるといいですね。